

巻頭言

全国被害者支援ネットワークは、欧州に犯罪被害者支援の実情を調査する調査団を派遣いたしました。

当ネットワークの第2期3年計画（平成25年度～27年度の中期計画）は、「信頼に基づく連携の強化」をメインテーマとして、「犯罪被害者支援の国際化への対応」を重点施策のひとつに掲げていました。これは、「グローバル化する社会において、日本の犯罪被害者支援も諸外国の犯罪被害者支援から学び、日常の支援活動に活かしていくことが求められていること」「日本人の海外での活動が飛躍的に増加し、海外における日本人の犯罪被害が増加していること」「日本で活動する外国人の急増に伴い外国人の犯罪被害が増加していること」などが背景にあり、諸外国の犯罪被害者支援の実状を直接訪問・調査し、今後の活動に活かして犯罪被害者支援の質の向上を図っていきたいと考えたからであります。

他方、日本の犯罪被害者支援活動は、人材の確保と育成、財政基盤の確立を含む組織体制の構築に大きな課題を抱えております。こうした課題の解決には、これまでの我が国における犯罪被害者支援の延長線上で課題解決していくことも重要ですが、先進的な犯罪被害者支援の国々から学び、課題解決に役立てることも重要です。そこで世界の犯罪被害者支援の現場を訪問し、先進的な海外における犯罪被害者支援の実状に接して学ぶことが、私たちの今後の支援活動の大きな原動力となると考えたからであります。

今回の訪問・調査に当たっては、事前に学識経験者の先生方から米国、欧州、オーストラリア、アジア等における犯罪被害者支援の実状を学び、最終的に欧州を訪問・調査することを決定いたしました。

欧州訪問の調査団につきましては、リーダーをご多忙の中、被害者支援都民センターの理事長で、全国被害者支援ネットワークの理事でもある飛鳥井望先生にお引き受けいただきました。団員は、日々の被害者支援活動に多忙を極めておられる方々ではありませんが、NNVS認定コーディネーターの方々を中心に構成させていただきました。今回の訪問・調査は、短期間ではありましたが多くの貴重な情報を得ることができました。また、団員一人ひとりには貴重な経験をしていただきました。この経験を今後の日本の被害者支援の質の向上に活かしていただくことを願ってやみません。今回の訪問・調査で大きな成果を得ることができたのは、参加いただいたメンバー各位の献身的なご努力に加えて、飛鳥井望先生の人望とリーダーシップによるものであり、ご尽力に深く感謝申し上げます。また、訪問・調査に先立ってご指導をいただいた学識経験者の先生方、ご支援・ご協力をいただいた関係の皆様にご心からお礼申し上げます。

本報告書が、我が国における犯罪被害者支援のための諸施策に活かされ、被害者支援に当たっておられる方々の糧となって、今後の被害者支援活動の一層の充実・強化に結びついていくことを願ってやみません。

公益社団法人全国被害者支援ネットワーク理事長 平井 紀夫